



あなたと人のコミュニケーション情報誌

夢 広がる なかしべつ

Vol.375



なかしべつ冬まつり

2006.2.11 12

INDEX / 目次

なかしべつ冬まつり	2~3
「ここは牛乳の町」講師長正路清さん、景観ネットワーク座談会・事例発表 上村重光委員長	4
女性部のページ 青葉会の集いほか	5
青年部のページ 理事者との懇談会ほか	6
中標津乳牛改良同志会定期総会、食品加工交流部会製パン講座	7
ニュージーランド酪農視察研修報告	8~11
乳質改善大賞に飯島浩さん、中標津町表彰自治貢献賞に丸田良夫さん、上村力さん	12
普及の窓「農場の環境づくり」	13
わが家の人気者 高嶋陽菜ちゃん(俵橋)	14
理事会報告、クロスワードパズル	15



なかしべつ 冬まつり



町内の冬の恒例イベント、中標津町冬まつりが2月11日、12日に開かれ、多くの来場者が町民雪像や各グループなどの制作したすべり台、実行委員会主催の各種の催しイベントを楽しみました。

農協職員組合製作のうし君。手には牛乳！



マリンスファームの出店。店先でジャガお好み焼きにかじりつく子どもたち

今年度の冬まつりには、青年部、マリンスファーム、食品加工交流部会が出店。なかしべつ牛乳やじゃがいも、ブロッコリーなど地元でとれた農畜産物の料理を販売し、町内消費拡大のPRを行いました。

繁忙期のため、夏まつりに出店協力していない青年部は、毎年、冬まつりに標準を合わせて計画、昨年の出店の反省から、「こうしたらいいね」という意見を取り入れて、牛乳・なかしべつビーフ消費拡大のPRを強力に行いました。なかしべつビーフサイコロステーキは、道内米のPRを兼



若いつて素敵！牛乳に相談だ。Tシャツを着て寒さを吹っ飛ばす!!

ねてサイコロステーキ丼に、なかしべつ牛乳・珈琲の販売は、パッケージを模したのぼり旗を掲げ、リトルバック売りも行いました。

1月号で紹介したバターと生クリームも使い、濃厚なコクを味わえる「プレミアムココア」は、注文したお客さんが、ココアを注文したのにと驚くようなプレミアム性で喜ばれました。

また、こちらも初出品となる牛乳しるこも、予想以上のヒット商品になり売れゆきも好調、お客さんのなかにはイメージ先行で絶対に無理というお客さんもおりましたが、実際に味わったお客さんには大好評だったようです。

冬まつり初参加となる食品

お客さんでごった返す青年部テント。NHKの取材も...

青年部テントをわかりやすくするため、看板を大きく掲げました



今だ! 乳製品消費拡大の好機!!

有志による
イベントも
追い風に!



手つきも本格派、ジャガお好み焼きを作る武田健治さん

役場農林課有志らによる
手作りアイスクリーム体験。
寒いけど子どもたちも大満足

加工交流部会は11日のみの出店となりましたが、地場産品のこだわりシチュー・パンセツトなどを販売。まつり来場者の体を温めていました。マリンスファームによる焼きじやがいも、ジャガお好み焼きなども、子どもたちからも好評で、鉄板からかぶりつく姿も見られました。

今年度は、昨年のようなエアリアルスキーや一昨年までのような花火などの大掛かりな集客が見込めるアトラクションが無いので、「お客さんが少ないねえ」と出店者からの声も多かった様子ですが、町役場の農林課畜産係職員が核となつて、町職員有志らによる低迷する牛乳の消費拡大を訴える独自、手作り牛乳アイスイベントとPRブースを展開してくれるなどの私たち生乳生産者に対する追い風もありました。

また、期間中NHKのロケも行われ、ウシの町なかしべつで牛乳消費拡大の取り組みなどを取材、青年部員もインタビュアーを受けていました。

青年部などが夏以降、地道なPRに取り組んできた「牛乳に相談だ。」事業も消費者に少しずつ浸透してきており、トリノオリンピックのTVC Mに(社)中央酪農会議がスポンサーとしてオモシロイCMを提供してくれました。このような追い風を利用して、まずは町内での牛乳消費拡大を生産者もひとり一人が消費拡大のプロデューサーとなり加速していきましょう。



子どもに大人気のうし君

寒さを温める食品加工交流部会のミルクシチュー



あしな? 長正路先生!

東小3年生



基幹産業酪農業の今昔を伝えました

3年生の社会科学習の授業で「ここは牛乳の町」と題し、郷土の基幹産業を学習してきた中標津町立中標津東小学校（佐々木誠司校長）は、近代的な酪農がどのように先人の努力の歴史から生まれてきたのかを学習するため、当幌の長正路清さんを先生として、同小学校の図書室で2月9日に、児童95人による学習会を開きました。

社会科学習の授業で、12月号で紹介した豊岡の高橋敏行牧場での牛舎やウシなど、生産現場を見学したり、生産された生乳が雪印乳業中標津工場で加工される様子を見学するなどインターネットでの調べを踏まえて、基幹産業の様子を追ってきました。今回、その集大成ということで、今と昔の違いを知るために酪農家の方の協力を申し出たもの。

東小学校の先生が郷土資料館から用意した、集乳缶と攪拌（かくはん）棒の使い方やどのように運んだか、冷やしたかなどの質問に長正路さんの幼少の頃からの体験を踏まえて答え、子どもも一緒に手伝ってきた酪農業だったが大型機械化が進み、小さい子供が手伝うことが難しい状況にもあることを説明、子どもたちは目を輝かせて、長正路先生の話を中心にメモして、酪農業の今昔を学んでいました。



長正路清さんは、酪農家2代目ではありますが、子どもどころから手伝いで酪

景観ネットワーク座談会で中山間中標津地区集落の取り組みを発表しました



「つながる景観・つなげる景観」ネットワーク座談会が2月24日、中標津町・中標津町文化的景観検討委員会の主催で開かれ、中標津町農協管轄からはパネリストとして開陽地区振興会の取り組みを藤田さんと中山間地域等直接支払制度事業の取り組みについて中標津地区集落の事例を上村重光委員長が発表しました。

中標津町は全国10市町村のうちの一つとして、文化庁のモデル事業に選定され、2年間にわたり「文化的景観の保存・活用事業」を展開してきました。学術的な調査や地域の方々の協力を得て、景観ツアーや協働ワークショップ（研究集会）を開き、景観に関する取り組みを行ってきたもの



開陽地区振興会の取り組みを補足説明する丸田さん

です。

開陽地区振興会の取り組みでは、観光路線として、廃屋の撤去や桜並木の造成、花壇作りなど、当初予算をもらって行ってきた事業について、町財政の枯渇から事業予算が無くなり、地域振興会の存在意義を再度認識するに至って、自分たちの手で活動を存続しようという自主的な気勢が起こっていること。平成17年6・8・10・平成18年1月に行われた文化的景観協働ワークショップのことが報告されました。

中標津地区集落からは、平成12年からの生活環境・農場環境整備事業、農家看板の設置、花壇・花の苗の配布などの取り組み活動と次期事業の計画。景観樹の防風林としての機能性と暴雪柵より景観的視点では有用なことから、今後考えて訴えていかなければならないこと。生産者サイドも景観との調和を考えてコツコツと経営していることなどを伝えました。



女性部

の

ページ



「女性部青葉会冬の集い」が

行われました

2月17日、JA中標津中会議室にて「女性部青葉会冬の集い」が行われ、部員11人が参加し交流を深めました。

恒例の手作り講座では、和紙工芸品『整理箱・新聞ストッカー』作りに挑戦しました。

今回の作品は、箱を組み立て、それぞれ好みの和紙を型紙とおりの大きさに切り、貼り付けて完成となりますが、簡単な作業のように思えてなかなか…。

型紙に合わせて切り貼りする作業枚数が多かったり、綺麗に貼り付けるのを正確にこなし、4時間ほどで全員完成することができました。予定より、作成時間がかかってしまったので、ゆっくりにおしゃべりする時間が少なかつたものの、作業しながらも日常の楽しい話や次年度にやりたいことなどの話で盛り上がりしました。

女性部役員会の反省会が開かれました



2月22日、女性部役員会の反省会が寿宴で開かれました。大所帯のJA中標津女性部をまとめる役員たちの労をねぎらい、次年度活動へつなぐためのもので、フレッシュミズ、中堅、青葉会の3層会長や役員らにより一年間の活動と役員それぞれの活動について振り返り、食事をとりながら話し合いました。

来る3月23日には、平成18年度通常総会がJA大會議室で開かれますので、「変わるう、変えよう」を実践すべく、多くの方の御出席をお願いいたします。

フレッシュミズ交流会が行われました



2月27日、フレッシュミズ交流会がカフェレストラン『ブウ・フウ・ウー』で行われ、14人が参加しました。計画では、ボウリングを行うこととしておりましたが、前回、雪によって延期となったため、スポーツは、なして昼食を取りながらの情報交流を行うこととしました。

清原朱美会長より、道女性協フレッシュミズの組織化についてなど、来年度の活動に向けて道内の動きを報告していただきました。

終了後は、ボリウム満点のランチを食べながら、日頃の楽しい話で盛り上がりしました。

農協理事者との 懇談会が開催される



農業・農協を取り巻く情勢を知り、青年部の本質を学ぶ、青年部と農協理事者との懇談会が、2月3日、青年部の5支部が普段例会を開く会館などで開かれ、「これからの農業（酪農・畑作）経営はどうあるべきか」と題して昨今の農業情勢を踏まえて、話し合いました。

理事者との懇談会が開かれた2月3日の段階から、さまざまな協議を重ねられ、状況が変化・緩和されてきている部分もありますが、次年度に向けて、厳しい現状を突きつけられることは必至であるとの見方が強いところです。

牛乳消費の低迷や牛乳の消費拡大に対して「保育所や多くのカルシウム摂取が必要なお年寄り向けに供給していくなど、学校向け牛乳の消費が落ち込むことがわかつていいるならば、新たな市場の開拓に、ホクレンや当農協も含めた乳業者が目を向けて取り組みを強めていくことも必要である」との意見も青年部として持っています。

バター在庫の問題について、理事者側の意見の中には、酪対や青年部でもバターを売る努力をしなくてはならないのでは？ という声が上がりました。取り組みの意見としてはさまざまにありますので、親組合に対してアイデアを提案していくことといたします。

このほか、農協事業のこと、PR事業のことなど、さまざまな意見について討議されました。理事の方々には、多忙な時期にご足労いただき、誠にありがとうございました。

2月27日に行われた青年部役員会で、各支部で交わされた懇談内容を確認しましたので、今後の青年部活動へのスバイスとして咀嚼（そしゃく）し、各種活動を行っていきます。理事者の方々、有難うございました。

青年部各支部で勉強会

現在青年部では、本部事業として2月に計画していた勉強会が講師急病のために中止になったことから、各支部例会に合わせて、出前勉強会を開いているところです。

内容は、「生乳需給・乳製品過剰在庫をめぐる情勢」について、国内消費動向や海外からの輸入に関する格差、チーズ需用と乳価の関係など国内需給のバランスについて伝えられ、上記した農協理事者との懇談会の時点から、内容が変わってきているポスト土地利用型事業の補助要件の細目や生乳生産調整などの酪農政策に関する説明では、知ることと、そこから、どうしようか？ と考えさせられる切迫している状況になっているこ



とが理解されたかと思えます。

「生産調整下を乗り切るため」の方策として、経営効率の向上を目指して取り組みが必要となる改善・検討事項が紹介され、先を見越した経営感覚を磨きながら、同時に実践していかなくてはならない急激な変化に、参加者は、損をしないように取りこぼしの無い経営をしなければならない、3年後の闘いはもう始まっているとの意識を強めました。



定期総会が開催されました



中標津乳牛改良同志会の第35回定期総会が、2月6日、J A中標津大会議室で議長 山下匡大氏（開陽支部）により開かれました。総会に先立ち、J A中標津よりエクセレント牛獲得牛の表彰と中標津乳牛改良同志会の表彰が下記の通り行われました。

総会では、平成17年度収支決算報告・事業経過報告がなされ府県視察研修等について討議説明がなされたほか、平成18年度事業計画では乳牛審査講習会、中標津B Wなどの事業が決議さ

れました。

また、新役員が藤原賢司役員選考委員会委員長より報告され、新会長に福村稔氏が選任されました。新役員体制については以下のとおり。

会長 福村稔氏、副会長 川村尊之氏、福嶋寿顕氏、監事 藤原賢司氏、笠井一路氏

高能力牛生産牛群表彰（乳量・乳脂量ベスト1、生涯乳量9万kg以上）、久保剛氏、横田光彰氏、弾正原正氏、片岡一志氏、斉藤希氏、岡部達也氏、安田正

平成17年度エクセレント獲得牛

佐々木昭雄	=アースイースト	マテイ	エアロ	フラワー号	91点
	アースイースト	ショーマー	ミレニアム号		90点
	アースイースト	ストーム	イーグル号		90点
福嶋 寿顕	=ハッピーウッド	エラ	ビュー	ストーム号	90点
弾正原 正	=サニーデール	リード	ケリー号		90点

嗣氏、佐藤康彦氏、舟橋信一氏、中本信幸氏、上村重光氏、清原孝志氏、長正路健二氏が選ばれました。優良体型牛群（2005年北海道ホルスタインナショナルシヨウ）、久保剛氏、福嶋寿顕氏。特別表彰（北海道ホルスタインナショナルシヨウ20年連続出場）、佐々木昭雄氏。

食品加工交流部会主催

「製パン講習会」が行われました



2月8日、農業農村交流施設クレにて、食品加工交流部会主催の「製パン講習会」が行われ、17人が参加しました。

この講習会は、メニューに乳製品を利用し、地域牛乳・乳製品の需要拡大を図ることを目的に、参加者それぞれの知識・技術のさらなる向上を目指して行われました。講師には、北見市の製菓・製パン原材料卸店・中村商会様のご配慮により、札幌より木田製粉・加藤先生をお招きし、「牛乳とバター、道産小麦「道春（どうしゅん）」を使って、「ブリオシユ」、「パン・オレ」、「パピーモーニング」という3種類のパンと、「バタークリーム」を教えてくださいました。それぞれのパン製造に関する注意点やアドバイスを受け、参加者も実習しながら、積極的に質問をし、今後の部会活動に役立つ、充実した講習会となりました。

ニュージーランド

酪農研修報告



2月23日、ルーキーズカレッジ2期卒業生らによる海外視察研修（ニュージーランド酪農）報告会がJA中標津大会議室で開催されました。3日間の研修行程の中で多くの視察先を見聞きした情報を日本に戻ってから整理し報告という形で発表しました。発表会までに長い期間かかっただけでなく、多くの方々の浄財により研修費用が負担されていることなどに対しまして参加者一同御礼申し上げます。



報告会はルーキーズ3期生など40人もの方々にお聴きいただけました

2月の多忙な時期の報告会にもかかわらず、関係機関を含め、40人もの方々に参集いただきました。誌面で伝えきれないこともありますが、3月号、4月号に分け、視察研修の内容については、研修の3日間を1日2人ずつ担当してご報告とさせていただきます。それでは、始まり、始まり、

今回、私たちが行ったニュージーランド（以下NZ）の南島についてですが、1期生が約1年前に渡航したのが北島。南島の酪農の特徴であり、北島の決定的な違いは、大規模経営であること。新規就農者平均400〜450頭飼養。また、放牧への気候条件が整っているとされる北島と比較して、降雨量が少ないため、良質な草地を形成するために灌漑、灌水設備が必要なことです。逆に地価高騰及



び新規就農制限のある北島で就農へのハードルが高い反面、南島に新天地を求めて来るシェアミルカーや企業家も多くいるようです。



NZのクライストチャーチはちょうどカーンが車で牽引されていました

ニュージーランド酪農研修日程表

曜日	訪問先	参加者
11/21 (月)	クライストチャーチ出発 サウスアイランド酪農センター訪問 プレザントポイントへ南下 トム・ランヴィー農場でロータリーパーラー視察 オアハダム視察	ルーキーズカレッジ2期生 長正路 健 二(当 幌)
11/22 (火)	オアマルへ移動 ホワイトチーズ工場視察 ビールフォレストへ移動 ブライアン・クリアウォーター農場で ロータリーパーラー搾乳体験&ヨーグルト製造工場視察 デカボ湖視察 コントラクター会社の収穫作業見学	小林 佳 紀(俣 落) 高橋 正 和(俣 落) 乾 元 樹(俣 橋)
11/23 (水)	中古機械店視察 農畜産物保冷施設視察 ジョンディア販売店視察 デヴィットロビンソン農場視察 獣医のクリニック視察	(有)ファム・エイ 武富 正徳 JAなかしべつ 眞野輝一郎

左から2番目より、武富、小林、高橋、長正路、乾



トニー氏より研究施設の説明を受けました。日本の担い手酪農家ということで、視察が許されたものです



クライストチャーチを出発した私たちは、リンカーン大学内にあるサウスアイランド・デイルー・デベロップメント・センターを訪問しました。
この施設は、リンカーン大学の研究農場で、1 haあたり飼養

11/21 (月)

長正路、武富による報告

1、サウスアイランドデイルー・デベロップメントセンター

頭数と生産性を高めることを目的としています。所長のトニー氏に案内してもらいました。

設立4年目のこの施設は、草地面積180 ha、搾乳牛は640頭。乳牛は、フリージアン種（ホルスタイン種×ジャージー種）。体重450〜500 kg、固形分で換算するNZでは、脂肪分が高い、この種が飼養の主

子牛の哺乳機で、カフェテリアとあります。バギーで牽引して1日1回。50頭分の乳房



フリージアン種、キウイクロスとの愛称も...

流です。広大な農場の作業を4人で行っていきます。

南島平均では、1 haあたり飼養頭数2・9で、この大学では1 haあたり4頭の密飼いですが、あえて研究のために行っています。

多頭放牧がもたらす自然界への影響も調べ、地下水の水質調査は定期的に行っていますが今のところ問題はないそうです。

飼養形態は、NZの気候を味方のできる完全放牧型酪農。牛舎はありません。搾乳施設は、55頭のロータリーパーラーにより、搾乳時間が2時間30分ほど。

分娩方法は季節分娩で、5月



待機場は牛を追い込みながら、円の中心にある穴に向かって勾配を利用して糞尿を掃除します



に乾乳し、8月頃に分娩。分娩専門農場に預託して、分娩を見てもらいます。繁殖方法は、人工授精で1頭に対しPGを使って2回行います。それでもまだめな場合は牧区に雄牛を放して本交を試みますが、それでも留まらない場合は淘汰対象牛に位置づけます。

牛飲用水は、豊富な井戸水を利用して、コバルト、Ca、Cu、Pを混ぜて与えます。年4回、牛の血液検査を行い、血中成分



左の三角形の台座を支点にコンパス状に草地を潤します

濃度によりミネラルの混合割合を決定します。
 草地改良は、草地面積に対し年10%程度、随時更新していきます。
 灌漑用機械のイリゲーシオンシステムは、180haを21区画に分け、1日あたり降水量30mm程度で人工的な雨を降らせません。180haは、2日半かけて一回りさせます。同じシステム



水飲みは土管。フロートがあり、土管からあふれないようになっています



マーケット（下）とコンビニ（上）での牛乳製品コーナー。プラスチックボトル販売は日本ではなじみが無く、また、フレーバーにより匂いや味がイロイロとありました。牛乳を飲んでみての感想は脱脂粉乳っぽい？

遠いところでは4kmもの距離を毎日2往復するため、蹄病が多いこと この運動にカロリーが消費されるために、乳量も少ないこと 搾乳牛の17%が繁殖障



センターのバルククーラーは2万kl、季節分婉なので集荷頻度にもピークがあります。

を利用してスラリー施肥も行えます。
 収穫作業は、基本量を超えるものをコンバクトサイレージにして牧区に定置します。
 大学での研究で問題となっているのは、牧区が広大で搾乳施設まで歩く距離が長く、一番



害で淘汰対象牛となっている点ですが、原因はいまだに特定できていないとのことでした。
 ファームステイ先のプレザントポイントへ南下した私たちは次の視察目的地向かいました。
2、トム・ランヴィー農場
 トム氏の農場は、草地面積310ha、搾乳牛580頭。ここも、ジャージーとホルスタインを交配したフリージアン種で、作業人数が5人（うち外国人労働者4人）で作業しています。

用で1頭に対し2回行う方法でした。
 ここまではリンカーン大学の農場と同じ形態でしたが、分娩に関してトム氏の農場では搾乳牛を160頭と420頭に分け、



授精台帳



トム・ランヴィー氏（中央）

飼養形態は、完全放牧で搾乳施設は、ロータリーパーラー、繁殖方法は、人工授精、PG使



冬の生乳国内消費用（ウインタールミルク）に160頭だけ搾れるように4月に生ませています。また、牧区も平地用・丘地用に分けています。

牛飲用水は、微量元素は基本的に同じですが、はじめから混合してある市販のものを使用。離乳期の育成牧区の飲用水には上記以外にグレイ、塩粉を足しています。

草地改良は、石灰、Ca、鶏糞、リン酸、科学肥料は一切使わず、有機肥料のみを施肥します。

イリゲーションスystemは、基本的にデイリーリデーロップセンターと同じ。地下水とダムによる供給によって賄われています。

トム農場では、収穫作業・分娩ともに委託しており、生産された生乳は有機生乳として乳業メーカーから10%のプレミアを付加して取り引きされています。有機酪農を目指す生産性は低くなりますが、牛の疾病が減ることが期待されますし、将来的にはオリジナルブランドして売り出すことも考えているとのことでした。



ロータリーパーラーは、自動離脱が付いていませんでした

トム氏の農場で話しに上がった水ですが、地下水とダムによる供給とのことでした。灌漑施設がなければ経営に足りる満足な草地を維持できないことから、酪農家にとって重要な水について、近隣農家の水源となつているダムを視察しました。

3、オアハダム

この南島という地域は、もとも降水量が少なく、農地を利用するには灌漑による灌水システムが不可欠とされていました。このダムの必要性が問われていた当時、大規模な干ばつが続いたこともあり、川からの供給の

みでは、安定的な水量が確保できないことが現実味をおびました。このためこのダムは、大規模な草地を維持管理するために1998年に農家の要望により建設されました。株式会社形態をとり、各農家・地方公共団体・企業・政府が株をシェアする経営方式です。

このダムの建設により約1万6千haの土地。約200戸の農家に十分な水量を安定的に確保できるようになりました。

1株に対して約4ha分の水量が確保できる権利を有し、水代は1ha当たり年間10NZ\$です。



オアハダムの上にて。奥が河川の上流

黒い管がうなぎが通る道



設立に向けては、1株250NZ\$で周辺の農家に販売された後、オープンマーケットで売買されるようになり、現在は1株5千NZ\$にもなっています。上流から流れてきた水はダムで溜められ、電力を取った後、安定的な水量を供給しています。電力の30%は環境保全に利用されており、流れをせき止めているダムをうなぎがのぼつていけるような管を据え付ける義務があるなど、とても環境を優先したのものになっています。

このダムが建設されて、酪農が出来る土壌が10倍に増え、また、周辺地域には7倍の経済効果をもたらしたとダムの管理者は話していました。

2月16日、北海道厚生年金会館で開かれた北海道乳質改善協議会主催の50周年記念式典において、当幌地区の飯島浩氏が全道各地1、400以上の生乳生産農家から選ばれた22人のうちの1人として『乳質改善大賞』に輝き、表彰されました。

今回、飯島浩氏が受賞した『乳質改善大賞』は、北海道乳質改善協議会が設立（昭和30年6月に設立）以来50年を経過し、長年にわたる生乳生産者の乳質改善への努力の積み重ねに対して創設され、贈られたものです。受賞は、全道を12ブロックに分け、各ブロックの乳質改善協議会から平成16年度の乳質（毎旬の出荷が、体細胞数20・9万/ml以下、生菌数1・4万/ml以下）などの条件を満たし選出された22農場に対して与えられました。

北海道で生産される生乳は、現在乳成分及び衛生的乳質、ともに欧米を上回り、まさに『世界レベル』の高水準に達しています。

近年、高成分で良質な生乳を生産・出荷するだけでは、消費者の要求に応えられない時代に入り、酪農現場に求められるものは、常に『安全・安心』を自ら問いかけながらの生乳

生産であるといえるでしょう。

飯島浩氏は今回の受賞に際し、「中標津町農協が、かねてより乳質改善に心血を注いできた結果。私たちが族を含めた生乳生産に携わる人たちの生産に向けた意識の向上により、みんなが切磋琢磨しあい、組合員の

考えております。ありがとうございます。ました。

また、自分の経営の中では、妻（三子夫人）の努力が大きかったと思えます。これからも消費者の期待に応えられるような良質乳を生産していきます」とコメント。

飯島 浩氏 乳質改善大賞に輝く



今後も受賞された飯島氏を含め、管内・道内すべての生乳生産者が消費者の要望に応える努力を続け、安全安心に根ざした生乳生産に邁進するという共通認識を持ち続け、安全で美味しい牛乳を消費者に供給する使命を果たすよう、より一層の良質乳生産に際して地域の模範として、ご活躍されますようお願い申し上げます。

受賞おめでとうございます。

全体的な底上げとなったことが大きな流れであると感じます。

また、当幌という地域が早くから畜舎を含めた生産・衛生環境に努めてきたこともあり、地域のバックアップが下支えとなってきたと



平成16年度 飯島 浩 牧場

体細胞数	9.5万/ml
生菌数	0.1万/ml
年間出荷乳量	826.3t
牛群平均乳量	9,444kg
乳脂肪分	4.28%
無脂固形分率	8.76%

中標津町表彰式

自治貢献賞に丸田良夫氏・上村力氏

中標津町は、1月17日に開いた第28回中標津町表彰式で、長年にわたり街の発展に功績のあつた14人、4団体を表彰しました。うち、自治貢献賞として、侯落の上村力氏、開陽の丸田良夫氏が受賞。

このほど、地区振興会長などを長年務めてきた、開陽の丸田良夫氏に対して、地区の有志が発起人となり自治貢献賞受賞祝賀会を開陽館で開きました。



農場の環境づくり

根室管内は全道でも有数の良質乳生産地域です。生産者として最も大切な「中身」である乳質が優れていることは、酪農地帯として誇るべきことです。しかし、消費者が抱く第一印象は外見（景観）に左右される場合が多いのです。ゴミや不要な廃材・農業廃棄物などが農場周辺に放置されていると、その地域の酪農に対する消費者のイメージダウンは免れません。牛乳という商品のイメージアップに結びつく農場の環境づくりを目指しましょう！



雪がとけたら、できるところからやろう！

農場周辺を整理整頓して効率よく農作業にとりくめるような環境を整えれば、生産性もUP！



農機具の収納

きちんと収納し、手入れを行えば機械も長持ちします。

倉庫・車庫などの整理整頓

生産資材の適正な在庫管理でロスを失くしましょう。

ゴミや不要な廃材の整理、農業廃棄物の適正な処理

壊れた機械や廃材は、回収するまで一カ所にまとめて置きましょう。

花壇の整備

花苗の定植にむけ、床土の準備をしましょう。

定植一ヶ月前には掘り起こし、堆肥を入れます。

畜舎排水の適正な処理

まずは、家族みんなで話し合い、計画を立ててみましょう。

「どんな農場にしたいのか」という目標にむけ、労力や経費を考慮し優先順位を決めて取り組むことが大切です。

【年次別計画例】

区分	環境内容	年次別計画			
		1～2年	3～4年	5～6年	将来
生活	・花壇の造成、植樹				
	・芝生の造成				
生産	・生活道の整備及び住宅の整備				
	・パドックの整備				
	・牛舎内及び周辺の整備				
	・農機具庫の整備				

計画を立て、
毎年少しずつでも
実行しましょう！

わが家の人気者

素直で優しい子になってね!!

PROFILE

高嶋 陽菜(たかしま ひな)ちゃん

2004年4月15日生 高嶋敦志さん・裕美さん夫婦の長女として生まれる



今月の『わが家の人気者』は、
 依橋地区、高嶋敦志さん宅の長女・
 陽菜ちゃんです。
 出産予定日ぴつたりにも生まれた
 という陽菜ちゃん。来月2歳の誕
 生日を迎えます。
 名前をパパ・ママ2人で考えた
 時は、違う名前だったけど、パパ
 が柔らかい・優しいイメージの名
 前にしようと色々考えた末、「陽
 菜」と決まりました。



豊子おばあちゃんに買ってもらったおひな様

最近、我が強くなってきたよ
 うで、持っている物を取り上げら
 れたりすると、「ひなっ!! ひなっ
 !!」って言うって自分の物だと主張
 したり怒ったりと、言う事を聞か
 ない事もあり、ママを困らせるみ
 たいです。
 陽菜ちゃんには、曾おじいちゃ
 ん・曾おばあちゃんと、おじいち
 ゃん・おばあちゃんがいる、家族
 みんなに可愛がられています。
 3歳の滉希(こうき)お兄ちゃ
 んが保育所から帰ってくると、「お
 かえり〜」って玄関に出て行き、
 お兄ちゃんのお弁当の残りを楽し
 みにお弁当箱を開けるのが習慣に
 なっています。普段、お兄ちゃん
 と仲良く遊んでいるけど、時には
 ケンカをして泣いちゃう事もある
 みたい。以前、お兄ちゃんと一緒
 にでんぐりがえしをして見せ、マ
 マを驚かせたそうです。
 食べ物については好き嫌いも無
 く、酸っぱい物にも抵抗が無いと
 いう陽菜ちゃん。トマトやイチゴ
 が好きだし、おじいちゃんが魚を
 食べていれば欲しがりますって。
 パパは、女の子だし太らないよう
 に願っているのだとか。また、歯

磨きがキライという陽菜ちゃん。
 ママは、毎回苦労して歯磨きをし
 ているそうです。
 動物が好きな陽菜ちゃん。牛は
 もちろんのこと、犬や猫も好きで、
 裕美さんの実家の犬にかじられて
 もまだ触りたがるほどです。
 また、季節に関係なく外遊びが
 好きで、冬は雪山の滑り台で遊び、
 なかなか家に帰ろうとしないので
 ママは大変みたいです。たまに、
 雪や氷柱の味見をして楽しんでい
 る日もあるそうです。

最後に陽菜ちゃんへの思いをマ
 マに伺ってみると、「大きな病氣
 をせずに、素直に育ってくれば
 ……」と話していただきました。

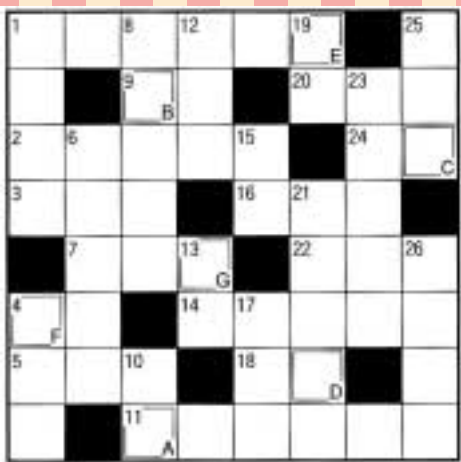


第10回 理事会

開催月日 / 平成18年2月27日

開催場所 / 農協中会議室

- | | | |
|--|--|---|
| <p>10 地区別懇談会の議題と日程について</p> <p>9 桜ヶ丘給油所洗車機の稼働状況について</p> <p>8 購買未収金の回収状況について</p> <p>7 平成17年度1月末生活事業概況について</p> <p>6 平成17年度1月末購買事業概況について</p> <p>5 酪農飼料基盤拡大推進事業の変更点について</p> <p>4 生乳生産状況と次期生乳安定生産対策について</p> <p>3 平成18年度酪農畜産対策運動について</p> <p>2 平成17年度組合員の加入及び脱退の状況について</p> <p>1 平成17年度1月末信用・共済事業概況について</p> | <p>報告事項</p> <p>7 肉牛生産センター施設・機械取得について</p> <p>6 平成18年度販売手数料及び利用料金の設定について</p> <p>5 各種資金の借入について</p> <p>4 総合農協に係る業務執行体制状況調査の回答について</p> <p>3 組合員の出資持分譲渡について</p> <p>2 自己査定（仮査定）結果の報告について</p> | <p>決議事項</p> <p>1 平成17年度1月末損益統計計画について</p> |
|--|--|---|



クロスワード

二重マスの文字を、A～Fの順に並べてできる言葉は何でしょうか？

同封の回答用紙に答えや一言コメントなどを記入の上、事務所備え付けの箱または、ファクスでご応募下さい。

タテノカギ

- 1 布を留めるときに使います。頭は丸くて糸は通せません
- 4 愛媛 香川 高知 徳島
- 6 始めたばかりならこのクラス
- 8 憂うつな人も多い曜日です
- 10 大泣きではなくて、ちょっとシクシク
- 12 〇〇に燃える 〇〇的観測
- 13 寒い風が吹いてくる方向
- 15 竹にも指にもあります
- 17 煮干しをこう呼ぶこともあります
- 19 木などに開いた穴
- 21 タダではありません、料金がかかります
- 23 昔に書かれた記録や書物
- 25 この木の根の皮は、漢方薬の材料になります
- 26 高いところが苦手の 〇〇恐怖症

2月号クロスワードの解答

2重マスの文字を並び替えてできる言葉は？『チョコレート』でした。

13人の応募があり、全員が正解。営農資材課富田恵一部長による抽選の結果、豊岡の白築望さん、東武佐の白田寿美江さん、依橋の佐々木友那さんが当選いたしました。



読者の声

杉本保子さんより、久しぶりにクロスワードパズルをしておもしろかった～でも頭のかたさを痛感。ネタ探しが大変だと思いますががんばってくださいね。との暖かいお言葉をちょうだいしました。ありがとうございます。

工藤光司さんは、スターウォーズ・エピソード3のオープニングで描かれる共和国軍と分離主義者らの宇宙戦の中で、分離主義者のドロイド軍を率い、2本のライトセイバーを操りジェダイ暗殺を行った半人半ドロイドのグリーバス將軍 (General Grievous) を鉛筆画で描いてくれました。作品を届けてくれた工藤さんには、薄謝進呈いたします。



ヨコノカギ

- 1 筒の中をのぞくと不思議な世界が見えます
- 2 奄美や沖縄特産の布。夏用の着物や座布団の地にします。
- 3 質も大事ですがこれも欲しい？
- 4 〇〇に交われば赤くなる
- 5 あたま かしら
- 7 喪に服するためにお休みします
- 9 押してもらおうといい気持ち
- 11 気象のほか火山活動などの観測をしているところもあります
- 14 船に魚があふれるくらいとれました
- 16 たくさんとれて、味も一番おいしいころ
- 18 考 熟 配
- 20 18世紀にフランスを中心に広まった、濃密で華やかな装飾様式
- 22 共通の氏神を祭る人たち。 総代
- 24 本物をまねること。 試験、 裁判

行事予定表

2006年2月 組合動静

- 1(水) 第9回理事会 青年部PR委員会
- 2(木) 畑対定期総会
- 3(金) JAOOC説明会
- 6(月) 中標津乳牛改良同志会定期総会
女性部役員選考委員会
- 7(火) ヘルパー会議
- 8(水) 畑作業推進打合せ ルーキーズカレッジ
- 9(木) ルーキーズカレッジ
- 10(金) 女性部第4回役員会議 中標津農民連盟総会
- 11(土) なかしべつ冬まつり~12日
- 13(月) 第2回生活事業検討会
- 14(火) 町財政援助団体監査
- 17(金) 青葉会冬の集い 酪農ヘルパー夏期抽選会
- 18(土) 農地協議
- 23(木) ルーキーズカレッジニュージーランド報告会
- 24(金) 実習生受入協議会役員会 第6回生産委員会
第4回管理購買委員会 てん菜振興会役員会
- 25(土) 熟年会役員会
- 27(月) 第10回理事会 農協役員・農協対合同会議
青年部役員会
- 28(火) 営農協議 依橋同志会婦人打合せ

2006年3月

- 1(水) 農業所得税・消費税申告作業~15日
SSミーティング 熟年会春期研修~4日
- 2(木) 中標津町議会議員との懇談会
- 3(金)
- 4(土)
- 5(日)
- 6(月) てん菜栽培講習会
- 7(火)
- 8(水) 畑作道外研修~11日
- 9(木) JAS法食品セミナー あるる定休日
- 10(金) 第5回女性部3役会
- 11(土)
- 12(日)
- 13(月) 開陽地区、中標津地区、武佐地区 地区別懇談会
- 14(火) 当幌地区、依橋地区、地区別懇談会
女性部役員会議
- 15(水) 第2俣落・西竹地区、俣落地区 地区別懇談会
青年部新旧役員会
- 16(木) 熟年会冬期研修~18日
- 17(金) ビート育苗センター稼働~27日
- 18(土)
- 19(日)
- 20(月) 第8回営農委員会
- 21(火) 春分の日
- 22(水) ヘルパー役員会 青年部新旧役員会
オイル取りまとめ~24日、中山間推進委員会
- 23(木) 第53回女性部通常総会
- 24(金) 肉牛生産センター棚卸
- 25(土) 第7回生産委員会、青年部勉強会
- 26(日)
- 27(月)
- 28(火) 第5回管理購買委員会
- 29(水) SSミーティング
- 30(木)
- 31(金) 棚卸し監査・あるる17:30閉店

食品加工交流部会の製パン講習会

バタークリーム

Butter Cream

食品加工交流部会の製パン講習会で教えていただいた、バタークリームです。



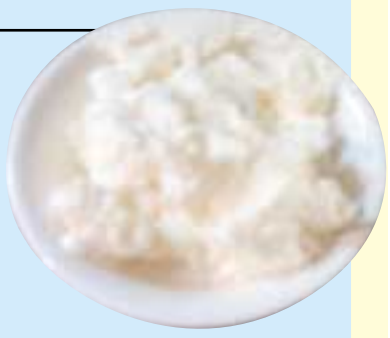
用意する材料

- フレッシュバター(無塩)...200g
- 砂糖...150g
- 牛乳...50ml
- 練乳(無糖)...5ml
- ブランデー...5ml
- バニラエッセンス...1・5ml



Recipe

牛乳を沸騰寸前まで加熱し、砂糖を加えてすぐに火から下ろして、余熱を利用して混ぜ合わせ、砂糖を溶かして放冷します(完全に冷ます)
フレッシュバターをクリーム状にしてを徐々に加えて、さらにクリーム状にする
練乳、ブランデー、バニラエッセンスを混合して滑らかなクリームが完成



牛乳はっか
素肌美人になりたい
牛乳に相談だ。
gyunyu.com